

拝啓

貴社益々御清栄の段慶賀に存じ上げます  
つきましては四日五日の橋本神社の春祭・菓子祭  
第62回全国銘菓奉獻祭に本年も御協賛を  
頂きまして誠にありがとうございます

前日は荒天でありましたが当日は晴天と桜の  
満開の元無事に終了出来ました事皆様様の  
御支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

本年につきましては全国から二〇八社（後日  
二社追加有り）の菓子業界の方々からお供えを  
頂き、業界の発展と皆様方の繁栄を祈願  
致しました。

また新聞各社でも取り上げられ御神徳の  
宣揚にもつなかりました。

今後共、何卒よろしくお願い申し上げますと  
共に貴社の弥栄と皆様様の御万福をはるかに  
お祈り申し上げます。

右略書乍ら御礼の御挨拶を申し上げます。

敬具

令和八年四月吉日

菓祖 橋本神社

司 前山和範

# 橘本神社・菓子祭 (令和8年4月5日)

No.1

## お菓子業界 もっと元気に



恒例の餅投げではお菓子もまかれ、多くの人の関心を集めた＝海南市下津町橘本、近藤麻衣子撮影

朝日新聞 (4月6日)

海南市下津町橘本の橘本神社で5日、春の大祭「菓子祭・全国銘菓奉献祭」があった。全国の製菓会社や菓子店から和洋菓子などが奉納され、業

界関係者が商売繁盛を祈願した。橘本神社はミカンと菓子の神様として知られる田道間守をまつる。菓子祭は1965年に始まり

### 海南・橘本神社で祭 全国206社奉納

62回目。今年は過去最高となる206社の菓子が供えられ、拝殿には和菓子や洋菓子、駄菓子などが高く積み上げられた。

式典には菓子業界の関係者ら約80人が参列。神職による祝詞や巫女の舞が奉納された後、境内では餅投げが行われた。餅と一緒に菓子がまかれ、地元の子どもらが歓声を上げた。

乾物スイーツなどを手がける「野田商店」(海南市)社長で、同市観光協会の会長でもある野田智也さんは「海南はお菓子の原点。観光地を含め地域の魅力を再認識し、地元菓子店や生産者と連携しながら、町全体を『お菓子の町』として発信していきたい」と話した。(ライター・近藤麻衣子)

毎日新聞 (4月8日)

始まった。これまでで最多という206社がスナック菓子やケーキ類、駄菓子などを献上。メーカーや地元関係者ら約80人が参列し、前山和範宮司が祝詞を読み上げ、みこが舞を奉納した。

初めて参列した長野県飯山市のかりんとうメーカー「米持製菓」の米持美知代専務(54)は「創業した祖父母の代は甘いものが貴重な時代だった。甘いものが食べられる、作れることに感謝し、お客様や社員に喜んでもらえる行動のきっかけにしたい」と話した。【藤木俊治】

海南 菓子業界の発展を祈願する恒例の神事「菓子祭・全国銘菓奉献祭」が5日、相橘や菓子の神様として崇敬されている海南市下津町の橘本神社で執り行われた一写真。実を付けた橘と満開の桜の下、全国の菓子メーカーから奉納された和菓子や洋菓子で境内があふれた。

由緒によると、古事記や日本書紀には、祭神である「田道間守」が垂仁天皇の命で異国からミカンの原種、橘を持ち帰ったという伝説がある。ミカンはかつて「菓子」として親しまれ、祭りは1965年に



### 全国の菓子業界発展を祈念 橘本神社で神事

和歌山特報社(令和8年4月11日)

# 田道間守祀る

4/5

# 橋本神社(海南市下津町)で「菓子祭」

▽:桜満開、汗ばむ春の陽気の中、みかんとお菓子の



祝詞奏上する前山宮司

## 過去最高206社が奉納

厳かに神事

神様・田道間守をお祀りする海南市下津町の橋本神社で4月5日、ことして62回目となる「菓子祭・全国銘菓奉献祭」が行われた。

ことしも神前には北海道から九州まで過去最高となる全国の菓子メーカー206社が奉納したお菓子が所せましと並んだ。

式典には、神出海南市長、玉木有田市長、地元県議、振興局長、市会議員、長沼昭夫全国菓子工業組合連合会理事長はじめ菓子業界、海南商議所、下津商工会、観光協会やみかん農園、栽培販売



地元の子どもたちが田道間守の唄を斉唱

関係、氏子ら多数が参列。前山和範宮司が祝詞で菓子を奉納したメーカー社、1社を読み上げ、各社や業界のますますの繁栄、繁盛を祈念した。巫女による舞奉納やハッピ姿の地元の子供たちによる田道間守をたたえる歌を元気いっぱい合唱しに楽しんだ。



桜満開の境内でモチ投げ

和歌山新報社(令和8年4月9日)

# 菓子業界の繁栄祈願

## 橘本神社で春の大祭

### 海南

ミカンと菓子の神様である「田道間守命(たちまもりのみこと)」を祭る、海南市橘本の橘本神社(前山和範宮司)で5日、春の大祭「菓子祭・全国銘菓奉献祭」が行われた。

同地区は日本で初めてミカンの原種である橘が植えられ、

ミカン発祥の地とされる。昔の人は橘を菓子として食べていたことから、同神社は、ミカンと菓子の神様として親しまれている。

大祭には、全国から菓子企業や関係者ら約1000人が参列。過去最多となる菓子業者206社が和菓子や洋菓子などを供え、菓子業界の

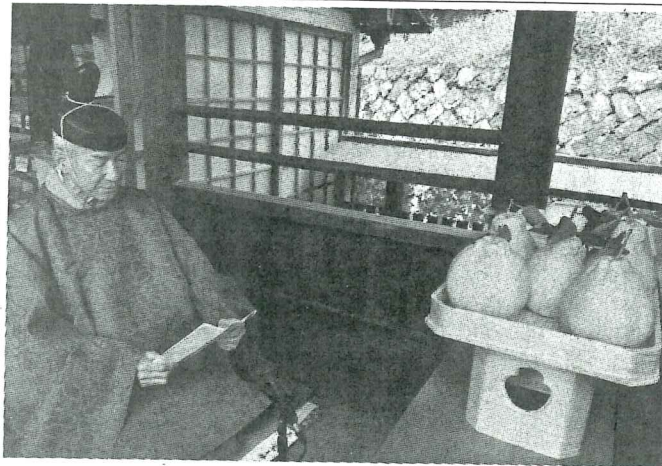
発展などを祈った。前山宮司が地元産のデコポンなどを神前に供え、祝詞を奏上。巫女(みこ)が「浦安の舞」を舞い、参列者は玉串をささげた。

前山宮司は、昨年は北海道の旭川で開かれた全国菓子大博覧会に参加したと、大阪・関西万博で多くの菓子メーカー

が協賛したこと、石積み階段園みかんシステムが農業遺産に登録されたことなどを報告。「昨年は喜ばしいことが続いた。ことしは境内で桜と橘の実が同時に楽しめ、縁起がよい。業界の発展と繁栄を祈念する」とあいさつした。

神前に供えられた銘菓は祭典終了後、おさがりとして社会施設団体に寄贈される。奉献祭の後、餅とお菓子がまかれ、駄菓子を配るキ

ャラクター「だがした人たちは福を求め、まかれた餅やお菓子に手を伸ばしていた。境内に集まっ



祝詞を奏上する前山宮司

週刊製菓時報(株) (大阪市)  
(令和8年4月20日号)

### 第62回全国銘菓奉献祭

## 2006社が銘菓奉納 橋本神社に80名参列



大阪商工連からの参列者

菓祖・橋本神社(前山和範宮司、和歌山県海南市下津町)恒例の「春祭・菓子祭」および第62回全国銘菓奉献祭は、4月5日に斎行された。前日の雨模様が一転、当日は春うららかな好天となり、境内の桜が咲き誇り、橋がたわなに実る中で、今年是全国から2006社の企業から銘菓が献上され、約80人が出席し、業界

の繁栄を記念した。菓子祭・銘菓奉献祭は、奉献菓子が並んだ拝殿において午前11時20分および第62回全国銘菓奉献祭は、4月5日に斎行された。前日の雨模様が一転、当日は春うららかな好天となり、境内の桜が咲き誇り、橋がたわなに実る中で、今年是全国から2006社の企業から銘菓が献上され、約80人が出席し、業界

の繁栄を記念した。菓子祭・銘菓奉献祭は、奉献菓子が並んだ拝殿において午前11時20分および第62回全国銘菓奉献祭は、4月5日に斎行された。前日の雨模様が一転、当日は春うららかな好天となり、境内の桜が咲き誇り、橋がたわなに実る中で、今年是全国から2006社の企業から銘菓が献上され、約80人が出席し、業界

の繁栄を記念した。菓子祭・銘菓奉献祭は、奉献菓子が並んだ拝殿において午前11時20分および第62回全国銘菓奉献祭は、4月5日に斎行された。前日の雨模様が一転、当日は春うららかな好天となり、境内の桜が咲き誇り、橋がたわなに実る中で、今年是全国から2006社の企業から銘菓が献上され、約80人が出席し、業界

の繁栄を記念した。菓子祭・銘菓奉献祭は、奉献菓子が並んだ拝殿において午前11時20分および第62回全国銘菓奉献祭は、4月5日に斎行された。前日の雨模様が一転、当日は春うららかな好天となり、境内の桜が咲き誇り、橋がたわなに実る中で、今年是全国から2006社の企業から銘菓が献上され、約80人が出席し、業界

の繁栄を記念した。菓子祭・銘菓奉献祭は、奉献菓子が並んだ拝殿において午前11時20分および第62回全国銘菓奉献祭は、4月5日に斎行された。前日の雨模様が一転、当日は春うららかな好天となり、境内の桜が咲き誇り、橋がたわなに実る中で、今年是全国から2006社の企業から銘菓が献上され、約80人が出席し、業界

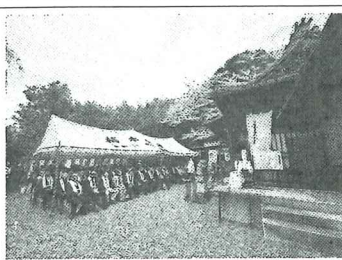
参列者が玉串を捧げ、菓子業界の発展、商売繁盛を祈った。続いて参列者代表の祝辞では、菓子業界からは次の2氏が祝辞を述べた。〈全国菓子工業組合連合会理事長・長沼昭夫氏〉

「全国菓子工業組合連合会は、全国に約8千社の菓子関連製造事業者の集まり。昨年、北海道旭川市で第28回全国菓子大博覧会を開催し、全国各地

から銘菓が旭川市に集まった。その時に菓祖神社を主催し、その祭祀として前山宮司に開会、そして閉会の時を合わせてお越しをいただいた。本当にありがとうございます。そのご縁もあり、今日私も北海道から参列に参り、札幌農学校というミルククッキーを祭壇に献菓させていただきます。おめでとうございます。

「DAGASHIで世界を笑顔にする会代表・秋山秀行氏(株大町) 駄菓子とは、日本の菓子の原点。私たちが14年前から継続して伝えているのは、日本のお菓子で世界を平和にしたい、子どもたちを笑顔にした、それだけです。お菓子の神様である田道間守公が神様になられた翌日の3月12日を「だがしの日」と定め、被災地の子ども達を元気にしようとして指定された。非常に喜ばしいことだと思っております。そして、本日は昭和40年から始め第62回を迎えた銘菓奉献祭は、過去最高の2006社の銘菓を奉納いただきました。本当にありがとうございます。また、80名を超える多くの皆様に参拝いただきました。今年は寄贈される。

境内の橋の実が多く残り、橋と満開の桜が見られ縁起も良く、この祭事を無事行えましたこと大変嬉しく思います。」と挨拶し、感謝の意を述べた。12時30分から境内で餅(菓子)投げが行われ、集まった人々の歓声が上がった。また、だがしおじさん(秋山氏)も登場し、一層の盛り上がりを見せた。直会では、和歌山県菓子工業組合理事長・森山昌彦氏が挨拶にたち、大阪府菓子商業工業組合連合会理事長・野村泰弘氏、兵庫県菓子工業組合理事長の西村欣祐氏が祝辞を述べた。奉献菓子は、おさがりとして社会施設・団体に



奉献祭



「浦安の舞」の奉納舞



境内で行われた餅まき